

議 第 4 号

県立高校の再編・整備に伴う財政支援の
強化を求める意見書（案）

年 月 日

衆 議 院 議 長
参 議 院 議 長
内 閣 総 理 大 臣
総 務 大 臣
財 務 大 臣
文 部 科 学 大 臣
宛 て

議 長 名

地方自治法第99条の規定により、下記のとおり意見書を提出します。

記

少子高齢化に加え、地方の過疎化等がますます深刻となる中、国は、全国一律の質の高い学びを保障するとともに、変化の激しい時代においても経済・社会の持続的な発展を支えることができる人材を育成するため、高校教育の改革を推進している。

本県は、県立高校の再編に向け、統合新校の整備を順次進めているが、建設資材の高騰、人件費の増加等によって、当初の想定を超える規模の財政負担が生じており、事業の円滑な実施への影響、ひいては将来における教育環境の悪化が懸念される。

また、現在議論されている高校授業料の無償化によって、私立高校への生徒の偏在も危惧される中、地域における安定的な教育機会の確保に向けては、県立高校の特色化・魅力化が重要となるが、学校ごとの取組には限界があり、国による一層の関与が求められる。

よって、本県議会は、国会及び政府において、県立高校の再編・整備に伴う財政支援の強化により、地方創生に資する教育基盤を確立するため、次の事項について特段の措置を講ずるよう強く要請する。

- 1 高校再編に伴う施設整備について、物価高騰等の影響を踏まえ、地方の実情に応じた負担軽減措置を講ずること。
- 2 地域の特色ある学びを実現し、県立高校の魅力化を図るため、教育環境の維持・向上に向けた支援を充実すること。